

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

南多摩の状況

<H27報告とH26報告の比較>

- ・平成27年度報告は、高度急性期機能を選択した病床数は対前年比約700床減、割合でも6.5ポイント減
- ・一方、急性期機能は、病床数で約600床増、割合でも6.3ポイント増

<H27報告の特徴>

- ・7対1入院基本料を届け出た病床の3割強が高度急性期機能、7割弱が急性期機能を選択
- ・回復期機能の稼働率は都平均より高く、平均在院日数は都平均よりやや短い。また、慢性期機能の稼働率は都平均より高く、平均在院日数は都平均より長い

<H27報告と将来推計>

- ・急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は3,970床
- ・将来(2025年)の患者数は急性期機能相当(600~3,000点)で2,566人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は3,290床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、約700床減らさなければいけないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の26.1%を占めるのに対し、自己申告の値は7.6%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、南多摩において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

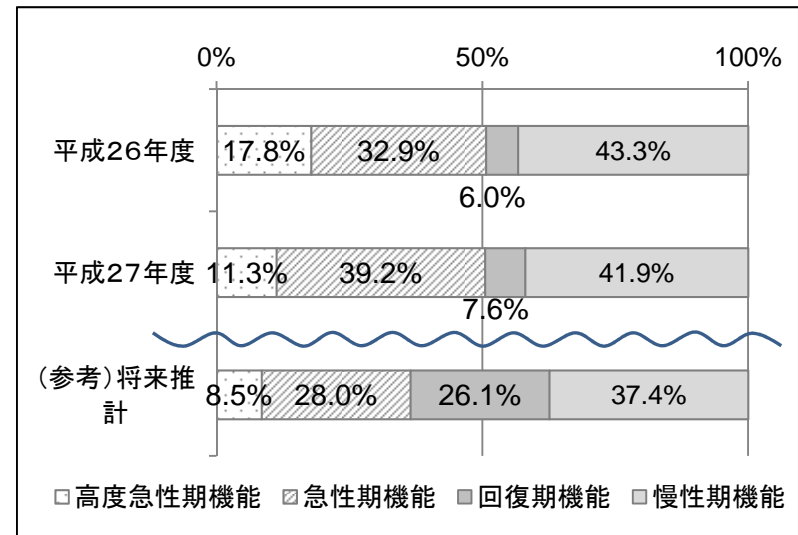
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度報告結果	1,825床 17.8%	3,374床 32.9%	617床 6.0%	4,437床 43.3%	10,253床 100.0%
平成27年度報告結果	1,141床 11.3%	3,970床 39.2%	765床 7.6%	4,241床 41.9%	10,117床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来推計	患者数	746人	2,566人	2,760人	4,040人	10,112人
	病床数	995床 8.5%	3,290床 28.0%	3,067床 26.1%	4,391床 37.4%	11,743床 100.0%
2013年推計足元	病床数	787.3床	2,434.9床	2,117.0床	4,796.8床	10,136.0床

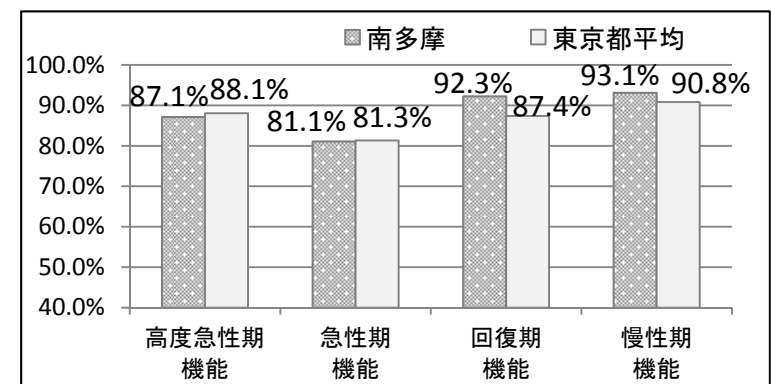


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1	一般病棟7対1入院基本料 976	一般病棟7対1入院基本料 1,911	回復期リハビリテーション病棟入院料 547	療養病棟入院基本料 2,361
2	小児入院医療管理料 59	一般病棟10対1入院基本料 1,123	一般病棟15対1入院基本料 85	介護療養病床 1,047
3	救命救急入院料 41	有床診療所入院基本料 273	地域包括ケア病棟入院料／入院医療管理料 60	障害者施設等入院基本料 820
4	特定集中治療室管理料 34	一般病棟15対1入院基本料 264	有床診療所入院基本料 36	特殊疾患病棟入院料／入院管理料 87
5	ハイケアユニット入院医療管理料 25	地域包括ケア病棟入院料／入院医療管理料 80	一般病棟13対1入院基本料 31	一般病棟特別入院基本料 24

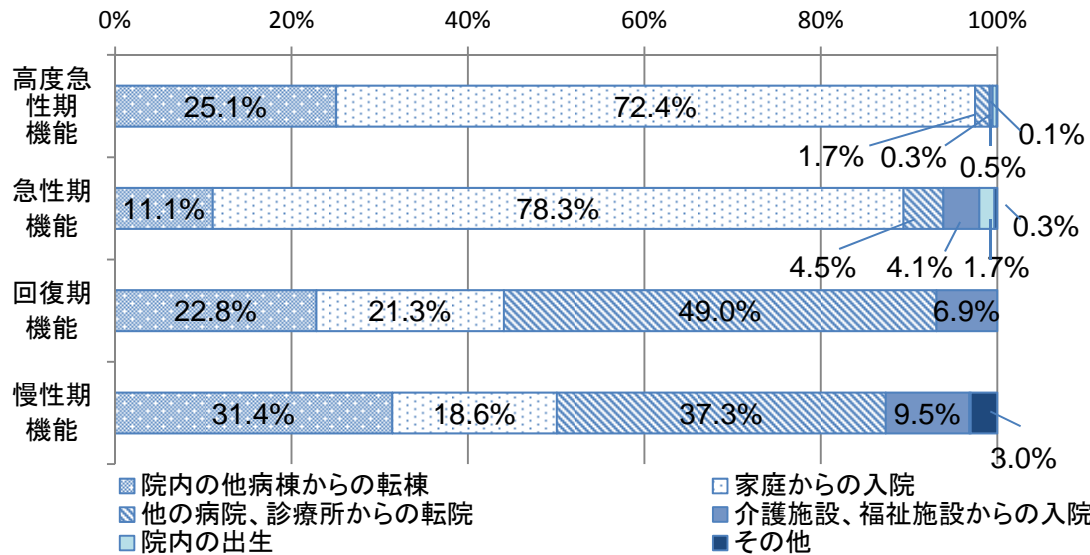
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



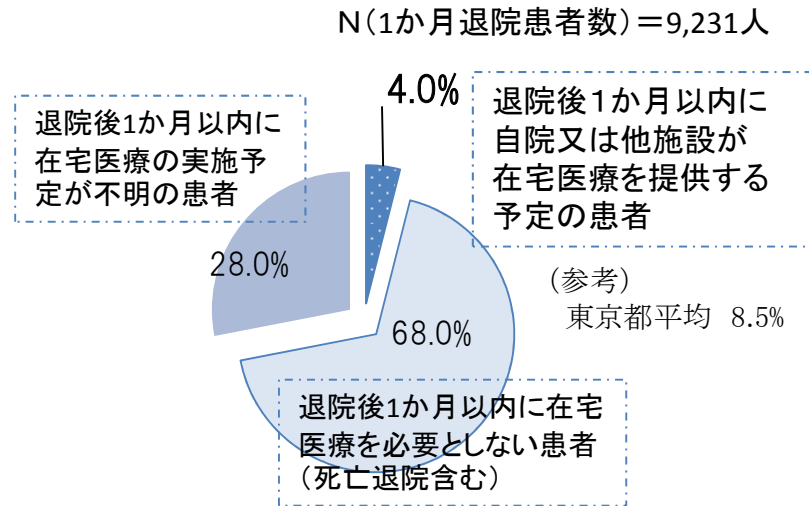
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
平均在院日数	9.0日	11.1日	45.6日	250.2日

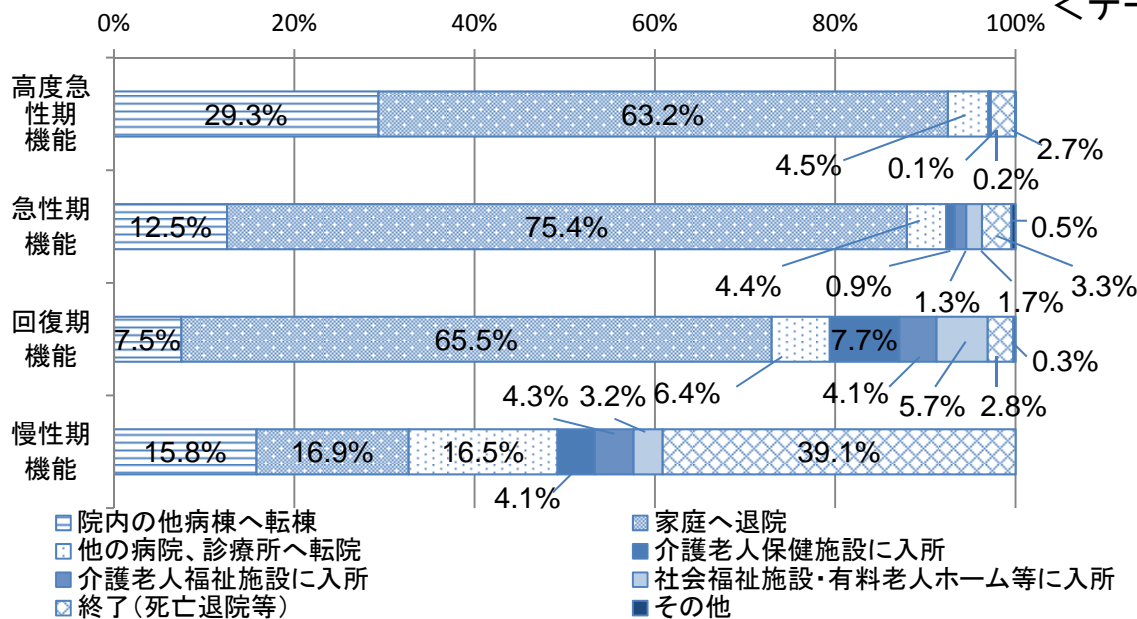
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所(病院)



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合(病院)



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所(病院)



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	6施設	17.1%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	19施設	54.3%
緊急時に対応する機能	14施設	40.0%
在宅医療の拠点としての機能	7施設	20.0%
終末期医療を担う機能	3施設	8.6%
いずれにも該当しない	6施設	17.1%

注 報告のあった35施設を集計。複数回答可。